

外郭団体の評価に係る基本調書

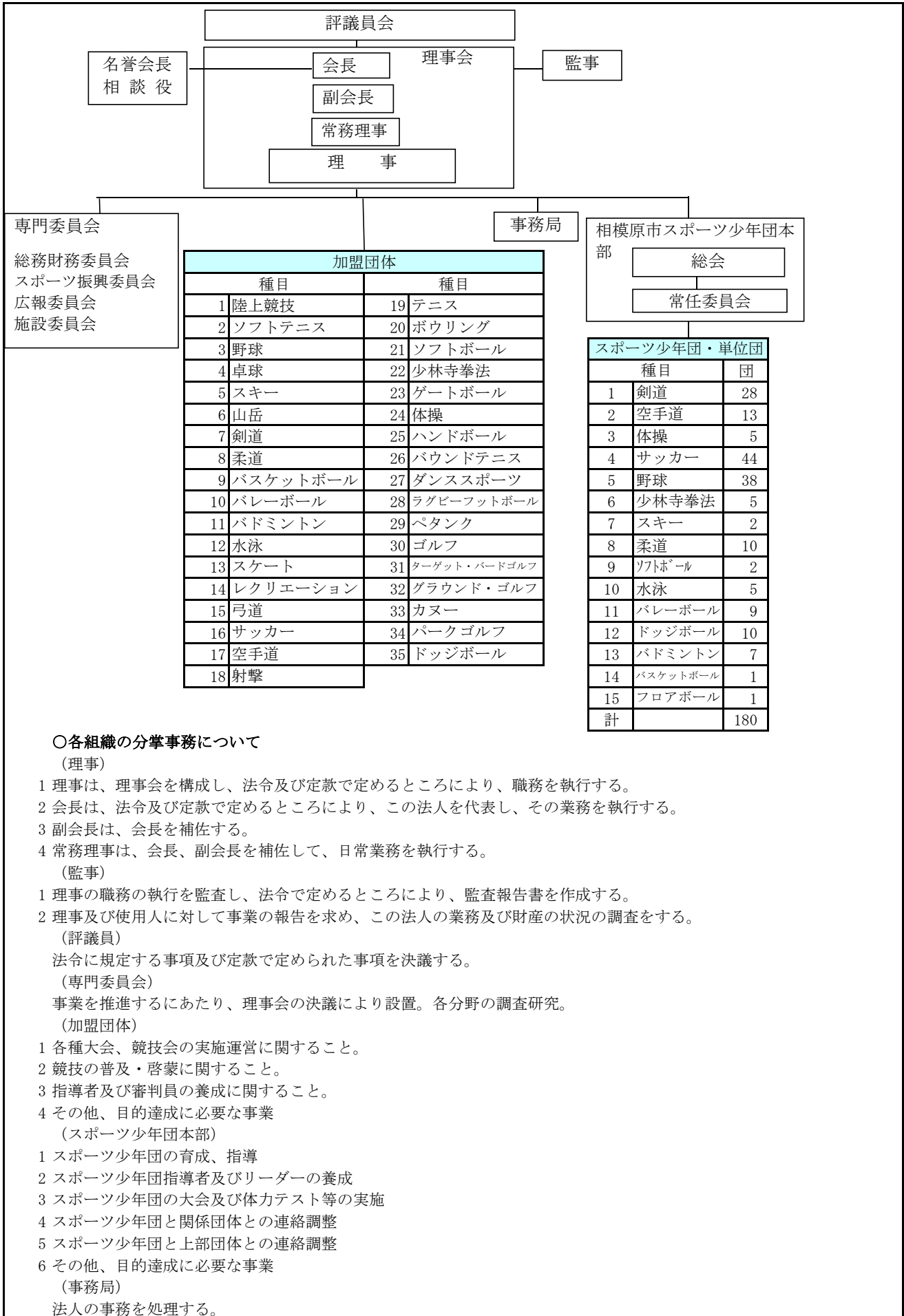
<団体の概要>

団体名	公益財団法人相模原市スポーツ協会						
所在地	相模原市中央区富士見6丁目6番23号 けやき会館4階						
設立根拠	民法第34条（整備法第44条）						
設立年月日	平成元年10月26日（昭和29年11月相模原市体育連絡協議会（任意団体）発足、平成24年4月1日公益財団法人に移行、令和2年4月1日体育協会からスポーツ協会に名称変更）						
設立者	相模原市体育協会及び相模原市						
市所管課	市民局 スポーツ推進課						
基本財産	市の出資額	49,000	千円	主な出資者の 市以外の 出資者	名称	出資額（千円）	出資率
	112,020	千円	出資率		43.7	%	個人団体からの寄付
設立目的	市民の体育・スポーツを振興し、もって市民の心身の健全な発達、明るく豊かな市民生活の形成及び活力ある社会の実現に寄与することを目的とする。						
事業内容	<ol style="list-style-type: none"> 1 スポーツの普及啓発及び競技力の向上並びに健康・体力づくりの推進 2 スポーツ団体、選手及び指導者等の育成指導、支援、表彰 3 スポーツを通じた交流の促進 4 スポーツに関する情報の収集及び提供 5 スポーツ活動の機会・場の提供 6 その他、この法人の目的を達成するために必要な事業 						

<人員配置>

役員	人数	常勤理事	1	非常勤理事	15	常勤監事	0	非常勤監事	2	
	内市退職職員数	常勤理事	0	非常勤理事	0	常勤監事	0	非常勤監事	0	
	任期	理事、監事ともに2年								
	常勤役員平均報酬	4,766千円（年額）								
評議員	人数	評議員	39							
	内市退職職員数	評議員	0							
	任期	4年								
職員	人数	令和3年度	正規職員	8	他法人等からの派遣職員	0	嘱託職員	8	合計	16
		令和2年度	正規職員	9	他法人等からの派遣職員	0	嘱託職員	9	合計	18
		令和元年度	正規職員	8	他法人等からの派遣職員	0	嘱託職員	8	合計	16
	給与体系	団体独自	目標管理による成果主義、能力主義に基づく給与体系							
	正規職員平均給料	3,777千円				正規職員平均手当	2,653千円			
	正規職員平均年齢	42.7歳								
	正規職員年齢構成	20歳未満	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60～65歳	66歳以上		
		0人	1人	1人	4人	1人	0人	0人		
正規職員役職構成	係員級	係長級	課長補佐級	課長級	参事級	部長級				
	2人	4人	0人	1人	0人	0人				
採用方法	公募により採用（令和2年度は1人を採用）									

<組織及び分掌事務>



<人材育成>

研修	実施回数	令和3年度	22	令和2年度	15	令和元年度	28
	受講人数	令和3年度	51	令和2年度	81	令和元年度	88
	主な研修の名称	経営計画研修、ハラスメント研修					
職員評価	評価制度の有無	有					
	評価の主な視点	・個人の業務に応じて年度当初に設定した目標に対する業績評価					
その他	その他実施していること	目標の設定に際し、難易度とウエイトを設定し達成度を客観的に判定できるようにした。					

<情報発信>

情報紙	発行の有無	有					
	名称	スポーツさがみはら					
	発行部数	令和3年度	326,750	令和2年度	348,300	令和元年度	373,600
	主な掲載内容	スポーツイベント情報、ワンポイントアドバイス、スポーツ少年団紹介					
	ターゲット層	市民全般					
ホームページ	開設の有無	有					
	主な掲載内容	スポーツイベント情報、スポーツ少年団、スポーツ団体					
	ターゲット層	市民全般					
	URL	sspo@sagamihara-sport.or.jp					
SNS	開設の有無	有					
	開設しているSNS	Facebook、Twitter					
	主な掲載内容	イベント情報、施設状況					
	ターゲット層	市民全般、施設利用者					
その他	その他実施していること	年間イベントポスターを作成し、市内公共施設に掲示。					

<保有施設の状況>

施設の保有の有無	無
----------	---

<経営計画>

計画の策定	有
計画の名称	第4期経営計画
計画期間	平成30年度から令和4年度まで
団体の役割・使命	公益法人として、社会的な役割を十分認識したうえで、行政、地域、スポーツ関係団体などと連携を深め、市民のための生涯スポーツの振興に努めることを使命とします。
団体の将来あるべき姿	目的である「市民の体育・スポーツを振興し、もって市民の心身の健全な発達、明るく豊かな市民生活の形成及び活力ある社会の実現」に向けて取り組んでいくとともに、各種目の競技力の向上に努めます。
主な内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「する」スポーツの振興 ・「みる」スポーツの推進 ・「ささえる」スポーツの拡大 ・財政基盤の安定化 ・人事組織基盤の充実

<主な実施事業>

事業名称		他団体との協力事業	
区分		公益	自主
確定事業費(千円)		0	
事業説明	内容	他団体と連携し各種事業を開催した。(チャリティゴルフ、動画発信、SDGs啓発事業等)また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止にはなったが、他団体との連携事業を計画した。(スポーツ講演会、わくわくスポーツフェア)	
	成果	医療従事者支援を目的に開催したチャリティゴルフ大会では、参加者等からの募金を相模原市(新型コロナウイルス感染症対策支援寄附金)に寄附した。また、青山学院大学フィットネスセンターと連携し動画発信を行ったが、相模原市身体障害者連合会及び相模原市SDGsパートナーの企業と連携を予定した2事業はコロナ禍のため中止となった。	
	課題	コロナ禍において、スポーツイベントは多くの制約があり、中止となる事業もあったため、今後はオンラインを活用した事業展開も検討する必要がある。	

事業名称		指定管理者施設の管理運営	
区分		公益	市からの受託
確定事業費(千円)		0	
事業説明	内容	財団が指定管理者の代表団体として、相模原ギオンスタジアム等を管理運営し、広く活動の機会・場を提供する。	
	成果	大規模大会の誘致や教室等によりスポーツの機会・場の提供を行った。 令和3年度は財団を代表団体とした4社でグループを結成し、管理運営してきたが、令和4年度からの次期5ヶ年の指定管理期間を更に発展させるべくグループに新たに2社を加えて提案し次期指定管理者の指定を受けた。	
	課題	日ごろの市民の健康づくりやスポーツ活動の場として継続的に機能していけるように、コロナ禍における施設利用者の「する」「みる」「ささえる」スポーツの様々なニーズを捉え、対応していく必要がある。	

事業名称		2021ツアー・オブ・ジャパン相模原ステージ実行委員会事業	
区分		公益	市からの受託
確定事業費(千円)		21,999	
事業説明	内容	本市における公認国際自転車ロードレースの開催に係る補助金申請事務及び運営検討、付随するサイクルイベント事業の開催。	
	成果	無観客ながらも盛況に開催できた。会長が実行委員長、常務理事が部会長として円滑な調整ができた。	
	課題	今回が初開催のため、様々な課題があったが、今後恒久的に開催するために1つずつ解決していく。	

<団体運営に対する考え方>

外郭団体としての必要性、役割	
<p>行政のスポーツ分野を補完する組織として、市民スポーツを振興する唯一の団体である財団が担う役割は多岐にわたり、その重要性は大きい。</p> <p>また、市民スポーツは各種目団体により支えられている部分も多いが、当該団体の大多数はボランティアによってその運営が行われている。その統括としての存在意義は多分にある。</p>	
公益的使命の達成について	
○現状と将来のあるべき姿	
<p>相模原市民のスポーツ振興に向け、財団は様々な事業を展開し、各種目団体を統括している。</p> <p>今後は、市民スポーツ活動の支援や情報発信など、市民のニーズを捉えた柔軟な展開を図るとともに、スポーツインライフやさがみはらSDGsパートナーとしての活動を通して、公益的使命に努めたい。</p>	
○今後の取組	
団体	事業評価制度を活用した事業精査とともに、選択と集中を行い、限りある資源を有効に活用しながら市民スポーツの振興に寄与していきたい。
所管課	相模原市スポーツ協会と密に連携し、本市のシティプロモーションの推進を目的に各種スポーツ大会の情報発信を行うとともに、市民が日常的にスポーツと関わる創出する。
事業の再整理・重点化について	
○現状と将来のあるべき姿	
<p>令和3年度には、津久井連絡所を事務局に統合し、津久井地域事業の見直しを行った。</p> <p>引き続き、事業の選択と集中を行い、限りある資源を有効に活用しながら市民スポーツの振興に寄与していきたい。</p>	
○今後の取組	
団体	財団の役割を明確にしながら、事業の進め方を変革していくとともに、事務事業評価を活用し、より市民スポーツ振興に貢献できるよう事業を展開していきたい。
所管課	時代とともに変化する市民ニーズに応えられる大会・イベント運営を行い、スポーツ振興のための計画策定、目標設定、施策の企画等を通して、事業の精査を行う。
組織について	
○現状と将来のあるべき姿	
<p>令和3年度は職員体制を見直し、より専門性のある分野に特化した業務ができるように配置した。</p> <p>今後はスポーツ団体ガバナンスコード、コンプライアンス基本方針等を活用し、組織強化に努めていきたい。</p>	
○今後の取組	
団体	組織の機能強化を図るとともに、固有職員の専門性をより高めるための人材確保・育成方針を検討していきたい。
所管課	市では、各種スポーツ大会等のイベント実施を主とした「スポーツ事業班」を設置し、市主催事業を中心とした大会運営を円滑に行うと同時に、市スポーツ協会が人材育成ができるよう助言・指導を行う。

財政状況の改善について	
○現状と将来のあるべき姿	
独自の給与体系の整備や様々な雇用形態を採用して、年々上昇する人件費の抑制を図った。ICTの利活用など実施手法の見直しを行い、コスト抑制を図りたい。	
○今後の取組	
団体	自主財源では経営を賄えるほどの収入が得られていない。質の高いサービスを提供しつつ、実施手法の見直しを行い、コストの抑制を図りたい。
所管課	市スポーツ協会への定期的なヒアリング・指導を行い、委託費の見直しを行うとともに、各種スポーツ大会の過去の実績を参考に経費削減を図る。

<今後の方向性>

経営上の課題	団体	各種目協会に加え、広く市民スポーツを振興していくために、多様な市民ニーズを的確に捉え、他団体と連携を図りながら新たな事業を展開していく。
	所管課	相模原市スポーツ協会だけでなく、各種目協会とも連携を図りながら、市民が気軽にイベント参加できるよう実施方法を検討し、スポーツ推進のみならず、シティセールスの推進にも寄与する取組が必要。
今後の取組	団体	新型コロナウイルス感染症の影響により、スポーツの機会は減少したものの、今後はICTの利活用によるオンライン事業等を実施し、競技スポーツ・生涯スポーツ人口の拡大を図っていききたい。 また、見直した組織や給与体系を活かしながら財政基盤の安定化に取り組んでいきたい。
	所管課	市の財政状況に応じて、委託費及び補助金の見直しについて検討を行う。

外郭団体改革推進計画の進行管理シート

団体名	公益財団法人相模原市スポーツ協会
-----	------------------

改革の方向性	外郭団体としての役割をより明確にする
	引き続き経営効率化に取り組む
	◎スポーツイベントや大会、教室等を効果的に実施することで、スポーツ人口の拡大に取り組み、市民の健康増進、体力や競技力の向上を図るとともに、外郭団体として果たすべき使命・役割をより明確にする。また、その使命等を果たすため、本計画に個々の具体的な目標の達成に向けて取り組むとともに、次期経営計画の策定に当たっても具体的な指標を定め、強みや特性を生かした取組を進める。 ◎自主財源の確保に努めるとともに、事務事業や組織、給与体系の見直し等による経営効率化に取り組む。

取組項目	スポーツの普及啓発、競技力の向上及び健康・体力づくりの推進を目的とした事業を実施し、競技スポーツ・生涯スポーツ人口の拡大を図る。			
目標	令和2年度(参考)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	スポーツを定期的に行う市民の割合目標値 59.7%	同 目標値60.4%	同 目標値61.2%	同 目標値62.0%
取組内容	経営計画に基づいた各種事業の実施、検証	経営計画に掲げている、誰もが参加できるスポーツイベントや大会、教室の充実を図る。	経営計画に掲げている、誰もが参加できるスポーツイベントや大会、教室の充実を図る。	第4期経営計画を検証し、次期経営計画において更なる施策の推進を図る。
実績	計画した事業の多くは、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止した。新たにYouTube配信を行った。スポーツを定期的に行う市民の割合実績値56.9%	昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の多くは中止した。今年度はYouTube配信に加え、新たにZOOMによるオンライン事業を実施した。		
取組内容実績	新型コロナウイルス感染症の影響で、スポーツ機会の提供が年間を通して制限されていることもあり目標値に達しなかった。コロナ禍でのスポーツ人口の拡大を図るため、YouTubeによる配信を行った。	昨年度に続き、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の多くは中止した。コロナ禍でのスポーツ人口の拡大を図るため、今年度はYouTube配信に加え、新たにZOOMによるオンライン事業を実施した。		

取組項目	インターネットを活用し、申込業務等における書類の受付や管理を紙ベースからデータベースへ移行するなど、業務の効率化を図る。			
目標	令和2年度(参考)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	ホームページの見直しを図り、インターネットを活用し、作業時間前年比20%減	インターネットを活用し、令和元年度より作業時間25%減	インターネットを活用し、令和元年度より作業時間30%減	インターネットを活用し、令和元年度より作業時間32.5%減
取組内容	・既存のホームページのリニューアルを行う。 ・ホームページによる事業申込、お問い合わせフォーム、加盟団体専用ページ、SNSを活用する。	ホームページによる事業申込、お問い合わせフォーム、加盟団体専用ページ、SNSを活用する。	ホームページによる事業申込、お問い合わせフォーム、加盟団体専用ページ、SNSを活用する。	ホームページによる事業申込、お問い合わせフォーム、加盟団体専用ページ、SNSを活用する。
実績	ホームページを全面リニューアルし、事業申込等を可能とした。作業時間は前年比20%減(980時間→775時間)。	インターネットの利活用に努めた。また、一部の事業ではインターネット上での決済サービスを開始した。作業時間は令和元年度比25%減(980時間→735時間)。		
取組内容実績	インターネットの活用により、業務の効率化、省資源化を図ることができた。	インターネットの活用により、業務の効率化、省資源化を図ることができた。		

取組項目	自主事業における協賛の確保、ホームページを始めとしたインターネット上の企業広告等を行い、財源の確保に努める。			
目標	令和2年度(参考)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	協賛企業等の確保に向けた検討	協賛企業等の確保に向けた方策の実施	協賛企業数等の前年比10%増	協賛企業数等の前年比10%増
取組内容	担当理事の選任を検討する。	担当理事を選任する。	既存協賛企業の継続依頼と事業目的に合致した新規協賛企業の獲得に努める。	既存協賛企業の継続依頼と事業目的に合致した新規協賛企業の獲得に努める。
実績	担当理事の選任を検討した。ホームページの企業広告数前年比225%。	常勤役員を担当理事に選任し、財源確保に努めた。新規賛助会員8件。		
取組内容実績	ホームページの全面リニューアルの伴い、営業活動を行った結果、企業広告数が4社から9社へ増加した。	新型コロナウイルス感染症の影響により、活動は制限されたものの、賛助会員募集のチラシ作成やHPでの呼びかけにより新規に8件獲得した。		

取組項目	専門委員会等の組織の見直し、新たな給与体系を構築する。			
目標	令和2年度(参考)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	専門委員会等の検証、個々の能力と業績を考慮した給与体系の検討	専門委員会等の検証、個々の能力と業績を考慮した給与体系の検討	専門委員会等の検証、個々の能力と業績を考慮した給与体系の検討	新たな組織体制に向けた準備と新たな給与体系の構築
取組内容	・既存の専門委員会等の効率化等を検証する。 ・職員評価制度を活用し、個々の能力と業績を考慮した給与体系を検討する。	・既存の専門委員会等の効率化等を検証する。 ・職員評価制度を活用し、個々の能力と業績を考慮した給与体系を検討する。	・既存の専門委員会等の効率化等を検証する。 ・職員評価制度を活用し、個々の能力と業績を考慮した給与体系を検討する。	・新たな組織体制に向けた加盟団体等との協議調整を行う。 ・新たな給与体系を構築する。
実績	・専門委員会等の検証を行った。 ・目標管理制度の作成、検証及び給与体系の調査研究を行った。	・専門委員会等の検証を行った。 ・目標管理制度の策定、新たな給与体系の構築を行った。		
取組内容実績	・効率的で機動力のある専門委員会等となるため、検証を行った。 ・職員評価制度の見直しを図り、新たな制度として目標管理制度の作成、検証及び新たな給与体系の構築に向け調査研究を行った。	・効率的で機動力のある専門委員会等となるため、検証を行った。 ・目標管理制度の策定及び、新たな給与体系を構築した。		

取組項目	スポーツ人口の裾野を広げるための事業を展開する。			
目標	令和2年度(参考)	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	新たな自主事業の実施	事業の実施	事業の実施	事業の実施
取組内容	東京2020参画プログラム(応援プログラム)“わくわくスポーツフェア”を継承した体験型事業を実施する。	事業を検証し、アイデア性に富んだ特徴のある事業を展開していく。	事業を検証し、アイデア性に富んだ特徴のある事業を展開していく。	次期経営計画に基づき、更なる事業の発展を図る。
実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、計画していた事業は中止とした。	コロナ禍においては、対面事業のほか、新規にオンライン事業を展開した。		
取組内容実績	市内複合施設内での事業実施を計画していたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止した。	ZOOMを活用した事業展開、YouTubeによる動画配信など、コロナ禍でのスポーツ人口の拡大に努めた。		

外郭団体の財政状況調書（公益法人版）

団体名	公益財団法人相模原市スポーツ協会
-----	------------------

単位：千円

	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
経常収益	243,919	252,127	245,295	218,846	247,087		
経常費用	240,844	248,122	252,089	208,827	248,988		
公益目的事業費	216,682	228,661	232,930	193,484	236,332		
収益事業費	3,532	3,739	3,400	2,694	3,039		
管理費	20,630	15,722	15,759	12,648	9,616		
当期経常増減額	3,075	4,005	-6,794	10,020	-1,900		
収益合計	243,919	252,127	245,295	218,846	247,087		
費用合計	240,844	248,122	252,089	208,827	248,988		
人件費	124,868	126,303	129,315	129,740	125,638		
当期一般正味財産期首残高	131,922	134,478	137,558	130,744	139,871		
当期一般正味財産期末残高	134,478	137,558	130,744	139,871	137,971		
当期一般正味財産増減	2,556	3,080	-6,814	9,127	-1,900		
当期指定正味財産増減	318	78	159	0	-56		
貸借対照表	資産	流動資産	89,493	101,590	101,915	111,659	107,795
		固定資産	263,894	262,809	266,794	272,080	277,898
		資産合計	353,386	364,400	368,709	383,738	385,694
	負債	流動負債	44,429	50,467	57,420	60,278	60,595
		固定負債	57,660	59,476	63,488	66,531	70,127
		負債合計	102,089	109,943	120,907	126,809	130,722
	正味財産	基本金	112,020	112,020	112,020	112,020	112,020
		当期正味財産増加額	2,874	3,159	-6,655	9,127	-1,957
		正味財産合計	251,298	254,456	247,802	256,929	254,972
負債・正味財産合計	353,386	364,400	368,709	383,738	385,694		
市の援助・市費受入状況	補助金	事業費	72,622	72,622	65,760	81,005	71,806
		管理費	9,280	9,647	8,485	4,712	5,874
		指定管理施設維持統廃支援事業	63,342	62,975	57,275	53,764	54,028
			—	—	—	22,529	11,904
	交付金	0	0	0	0	0	
	負担金	0	0	0	0	0	
委託料（指定管理料含む）	106,595	110,634	107,580	89,603	90,487		
安全性	自己資本比率	71.1%	69.8%	67.2%	67.0%	66.1%	
	流動比率	201.4%	201.3%	177.5%	185.2%	177.9%	
	固定比率	105.0%	103.3%	107.7%	105.9%	109.0%	
	固定長期適合率	85.4%	83.7%	85.7%	84.1%	85.5%	
	経常比率	101.3%	101.6%	97.3%	104.8%	99.2%	
効率性	管理費率	8.5%	6.2%	6.4%	5.8%	3.9%	
	人件費率	51.2%	50.1%	52.7%	59.3%	50.8%	
自立性	市への財政依存度	73.5%	72.7%	70.7%	78.0%	65.7%	
収益性	総資本経常利益率	2.3%	2.9%	-5.2%	7.2%	-1.4%	
その他	公益目的事業比率	90.0%	92.2%	92.4%	92.7%	94.9%	
	収益事業比率	1.5%	1.5%	1.3%	1.3%	1.2%	